

General Information

江角学びの交流センター活動報告

平成22年度活動報告

江角学びの交流センター

1 地域人間科学研究所

本研究soの活動は所員の研究・教育活動に加え、研究紀要『想林』の発行および講演会・シンポジウム等の開催が中心となる。平成22年度は、平成22年5月1日(土)の読書フェア「読むよろこび 語るよろこび」(於・かごしま県民交流センター)を開催するにあたり、主管として中核的な役割を果たした。

この読書フェアは、鹿児島純心女子短期大学創立50周年と国民読書年を記念して計画された。実施状況は下記のとおりまとめることができる。

1 目的

児童・生徒の活字離れを防ぎ、本と子どもと人生を考え、また子どもに本を読むことのよろこびを体験させる機会とし、子どもの読書活動をさらに支援・推進する契機となることを目的とする。

- 2 主催：鹿児島純心女子短期大学 主管：江角学びの交流センター
- 3 後援：鹿児島県教育委員会 鹿児島市教育委員会 鹿児島県PTA連合会 鹿児島市PTA連合会 鹿児島県図書館協会 南日本新聞社 MBC NHK
- 4 日時：平成22年5月1日(土) 13:00～(開場12:30)
- 5 場所：かごしま県民交流センター
- 6 実施内容：
 - (1) 開会のことば 平山久美子(本学学長) 13:00～13:10
 - (2) こどもバンド演奏会—純心短大こども学専攻学生—

平成22年度活動報告

13：10～13：20（県民ホール）

(3) ワークショップ 13：30～14：50（大ホールA・B・大研修室2）

(ア)「すばらしい紙芝居の世界」中平順子氏（子ども文化研究家）

(イ)「絵本の読聞かせの魅力」柿木ひさえ氏（てんとうむし文庫主宰）

(ウ) パネルディスカッション「読書会の魅力」

青山巖豪氏 川涯利雄氏 大山みゆき氏 久木田みどり氏

コーディネーター・司会 河野一典（本学教授）

(4) 講演会—コラボレーションによる— 15：00～16：40（県民ホール）

演題 「読むよろこび 語るよろこび」

演者 たかしよいち氏（久留米信愛女学院短期大学名誉教授・
同学院図書館長）

濱里忠宜氏（鹿児島純心女子短期大学前副学長・特任教授）

(5) 閉会のことば 濱里忠宜（本学江角学びの交流センター長）

(6) その他 書籍の展示（株式会社トーハン）12：30～16：30

（県民ホールロビー）

託児室：12：30～16：30（第1リハーサル室）

7 参加人数・受付総数 約650名

司書 幼稚園・小中高等学校教員 保育園関係者 親子読書会員
各学校PTA会員 社会教育・図書館関係者 一般 大学生他

8 会場の様子



開会のことば



こどもバンドの演奏



絵本の読み聞かせの魅力



すばらしい紙芝居の世界



パネルディスカッション
「読書会の魅力」



講演会

前年よりプログラム内容の企画から会場の手配や広報活動に至るまで、着々と準備を進めてきたが、所員をはじめ本学教職員はもとより、内外の多くの方々の御支援と御協力を得て成功裡に終えることができた。ここに記して皆様に感謝申し上げる次第である。

2 生涯学習支援室

生涯学習支援室の活動は、鹿児島県における「生涯学習」の推進に努め、地域に貢献することである。本学スタッフを中心に純心市民講座・共修講座等を開講している。受講生はもちろん、自治体をはじめ地域の関係者の皆様から多大な御協力をいただいて運営していることに感謝申し上げます。

また、学生ボランティアを積極的に活用していることも、純心市民講座の特徴となっている。本学の学生が地域の人々と触れ合う機会を創出することによって、彼女らの実社会に向けての学びの場を提供するとともに将来の生涯学習者を育成することになる。

平成22年度活動報告

生涯学習支援室は「純心市民講座」の主管として、平成22年度も当初の計画通り、全ての講座を開講した。その実施状況は下記の表が示すとおりである。

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
人間大学 (一般教養)	共修講座 かごしま学 木曜 14時50分～16時20分 (全15回)	1	4/8	濱里 忠宜	一般成人	10名	0名	本学 27-318
		2	4/15	中野 翠				
		3	4/22	中野 翠				
		4	4/29	中野 翠				
		5	5/13	中野 翠				
		6	5/20	伊集院久信				
		7	5/27	伊集院久信				
		8	6/3	橋口 尚武				
		9	6/17	橋口 尚武				
		10	6/24	橋口 尚武				
		11	7/1	松尾 千歳				
		12	7/8	伊集院久信				
		13	7/15	伊集院久信				
		*	6/5	河野 一典				
*	6/19	河野 一典						
人間大学 (現代的課題)	現代を生きる知恵 土曜 14時～16時 (全6回) ※共催：鹿児島市教育委員会	1	7/3	河野 一典	一般成人	20名	14名	サンエール かごしま (4F-中 研修室)
		2	7/10	濱里 忠宜				
		3	7/17	塚田まゆみ				
		4	10/2	濱里 忠宜				
		5	10/9	塚田まゆみ				
		6	10/16	河野 一典				
人間大学 (一般教養)	南九州市女性大学 土曜 13時半～15時半 (全5回)	1	5/15	濱里 忠宜	南九州市内 に住む女性	25名	10名	知覧文化会 館他
		2	8/7	進藤 智子			18名	
		3	10/2	中村伸一郎			15名	
		4	12/11	谷村 紀彰			8名	
		5	1/22	柳井谷夏絵			(修了証書 受取18名)	
外国語講座 (語学)	英会話 初級 (春季) 水曜 18時半～20時 (全10回)	1	5/18	Glenn Forbes	15歳以上	20名	5名	鴨池公民館 (第1研修 室A)
		2	5/25					
		3	6/1					
		4	6/8					
		5	6/15					
		6	6/22					
		7	6/29					
		8	7/6					
		9	7/13					
		10	7/20					
	英会話 中級 (春季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	5/19	Erica Richardson	18歳以上	20名	10名	鴨池公民館 (第1研修 室A)
		2	5/26					
		3	6/2					
		4	6/9					
		5	6/16					
		6	6/23					
		7	6/30					
		8	7/7					
		9	7/14					
		10	7/21					

想林第2号

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
外国語講座 (語学)	英会話 上級 (春季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	5/18	Sonya Govey	18歳以上	20名	9名	鴨池公民館 (第1研修 室B)
		2	5/25					
		3	6/1					
		4	6/8					
		5	6/15					
		6	6/22					
		7	6/29					
		8	7/6					
		9	7/13					
		10	7/20					
	英会話 初級 (秋季) 水曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/28	Sarah Rodriguez	15歳以上	20名	3名	鴨池公民館 (第1研修 室A)
		2	10/5					
		3	10/12					
		4	10/19					
		5	10/26					
		6	11/2					
		7	11/9					
		8	11/16					
		9	11/30					
		10	12/7					
	英会話 中級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/29	Erica Richardson	18歳以上	20名	7名	鴨池公民館 (第1研修 室A)
		2	10/6					
		3	10/13					
		4	10/20					
		5	10/27					
		6	11/10					
		7	11/17					
		8	11/24					
		9	12/1					
		10	12/15					
	英会話 上級 (秋季) 火曜 18時半～20時 (全10回)	1	9/28	Sonya Govey	18歳以上	20名	10名	鴨池公民館 (第1研修 室B)
		2	10/5					
		3	10/12					
		4	10/19					
		5	10/26					
		6	11/2					
		7	11/9					
		8	11/16					
		9	11/30					
		10	12/7					
	はじめての英会話 (幼児コース・春季) ① 4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ② 5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	6/5	Cynthia Ann Keith	就学前の児 童(4～6 歳)	① 10名 ② 12名	①7名 ②10名	本学プレイ ルーム
		2	6/19					
		3	7/3					
		4	7/10					
		5	7/17					
		6	7/24					
	はじめての英会話 (幼児コース・秋季) ① 4歳児コース 土曜 9時～9時50分 ② 5・6歳児コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	10/9	John Tremarco	就学前の児 童(4～6 歳)	① 10名 ② 12名	①11名 ②10名	本学プレイ ルーム
		2	10/30					
		3	11/6					
		4	11/13					
		5	11/20					
		6	12/4					

平成22年度活動報告

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
外国語講座 (語学)	はじめての英会話 (小学生コース・春季) ① 1～3年生コース 土曜 9時～9時50分 ② 4～6年生コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	6/5	Mary Jilek	小学生	① 15名 ② 15名	①9名 ②6名	本学10-401
		2	6/19					
		3	6/26					
		4	7/3					
		5	7/10					
		6	7/17					
	はじめての英会話 (小学生コース・秋季) ① 1～3年生コース 土曜 9時～9時50分 ② 4～6年生コース 土曜 10時～10時50分 (各コース 全6回)	1	10/9	Sarah Rodriguez	小学生	① 15名 ② 15名	①14名 ②6名	本学10-401
		2	10/16					
		3	10/30					
		4	11/6					
		5	11/13					
		6	11/20					
生活学講座 (趣味)	親子でクッキング 10時～13時	1	8/7	大富あき子	小学生の親 子	15組 40名	23名	本学調理室 (1-101)
	芸術講座 10時～12時	1	8/7	佐々木 澄	一般成人	15名	6名	本学工芸室 (27-602)

最大の課題は受講生の数である。定員をかなり割り込んでも極力開講するように努めているが、経済的に厳しい面がある。今後とも地域のニーズを的確に捉えた講座の充実と広報活動に、センター所員一丸となって努める所存である。

(文責 河野一典)

3 こどもの未来支援室

地域社会への貢献及び学生の主体的活動による体験を重視した保育者育成を目的として、「こどもの未来支援室」の催しとして、以下の表のとおり活動を行った。

講座区分	講座名	回	期日	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
純心こども講 座	リズムあそび 10時半～11時半	1	4/24	吉留早木子	就学前の児 童(2～6 歳)の親子	50組	45名	本学体育館
		2	7/17				38名	
		3	8/7				23名	
		4	10/9				27名	
	いろとあそぼう・ かたちとあそぼう 10時半～11時半	1	5/22	榎本 容好	就学前の児 童(2～6 歳)の親子	20組	39名	本学プレイ ールム
		2	6/26				31名	
		3	10/2				30名	
		4	10/16				26名	
	親子のお楽しみ クリスマス会 10時～11時半	1	12/11	江角学びの 交 流 セ ン タースタッフ	就学前の児 童(2～6 歳)の親子	50組	51名 (32組)	本学音楽室 (27-606)

(1) 純心こども講座—専門教育科目「こども学フィールドワークⅡ」の発展—

○リズムあそび

会場：本学体育館

想林第2号



○いろとあそぼう・かたちとあそぼう

会場：江角学びの交流センター こどもの未来支援室プレイルーム

(2) 親子のおたのしみクリスマス会

参加者内訳：親子32組（子ども51名）

実施状況

プログラム	内 容
1 はじめのことば	
2 クリスマスについてのセレモニー 「くつしたの中のプレゼント」	・クリスマスについての学生による創作劇
3 おたのしみタイム ○手遊び・指遊び	
4 こどもバンドの演奏 「赤鼻のトナカイ」 「あわてんぼうのサンタクロース」 「サンタが町にやってくる」	・ハンドベル、歌遊び
5 サンタさんからのプレゼント	・サンタさんからのプレゼント
6 おわりのことば アンケートの配布および回収	

○学生ボランティア 51人（2年生：42名，1年生：9名）

- ・全体の企画・運営
- ・会場の設営，片付け

平成22年度活動報告

- ・司会・進行
- ・あいさつ
- ・こどもバンドの演奏
- ・プレゼントの準備
- ・おたのしみタイム
- ・セレモニーの準備 等

おわりに

なるべく多くの地域の方々に本学の教育の様子を知っていただくために、気軽に遊び感覚で足を運んでいただき、その上で子どもの未来を支援したいとの思いから平成22年度は8回の「純心こども講座」と、「親子のおたのしみクリスマス会」を実施した。

「こどもの未来支援室」の窓口となっている生活学科こども学専攻は、保育士や幼稚園教諭といった特に乳幼児期の子どもとかかわる保育の専門家である保育者養成の専攻である。保育者を目指す学生とはいえ、今どきの若者は小さい子どもとかかわる経験をしていない、かかわったとしても非常に希薄な経験に過ぎない等が指摘されている。

そこで、本学で学ぶ学生にはより多くの子どもや親子に実際に触れ合う機会を創出し、子どもの成長のためにはどのような支援ができるのかを経験から学び、卒業後はそれぞれの保育現場で即戦力となりうる保育者に養成したいというのが私共の願いである。学生自らが企画立案し、自分たちで準備運営するという体験重視の実践的な学習の展開により、上記の活動体験を通して、その礎ができてきているのではないかと嬉しく感じているところである。

今後はさらに、本学を卒業し保育現場で就労中の方々に対して、リカレント教育機関として支援できる体制の構築を図りたい。そして力量のある保育者・心のある保育者を養成し、高等教育機関としての使命を果たしていくべくさらなる策を講じていかねばならない。

この事業の推進にあたって労をいとわず学生指導等に携わっていただいた本学生活学科こども学専攻のスタッフ、ならびに、吉留早木子先生、榊本容好先生、本学事務職員の皆様心から感謝申し上げます。

(文責 塚田まゆみ)